

整備の基本的な内容

駅 (JR・地下鉄)

JR、地下鉄の駅施設は、以下の様な改善点を検討して整備を行います。駅施設に隣接するバスターミナルも同様です。

出入口口…有効幅員の確保などの検討

コンコース・通路…支障物の排除などの検討

階段…手すりの改善など

各種案内標識・表示及び誘導に関する検討

視覚障がい者誘導用ブロックの改善・新設の検討

券売機…高齢者・身体障がい者等の利便性向上の検討

ホーム…転落防止対策の検討



可動式ホーム柵

信号機など

信号機

音響式信号機や歩行者の青時間延長機能が付いている信号機、交通規制標識などの高輝度化を検討します。

違法駐輪・違法駐車

違法な駐輪・駐車への対策、及びそれら行為に対する啓発活動を実施



音響式信号機

公共交通・タクシー

車両更新時期に合わせて鉄道・バス・タクシー事業者と行政が協力しながら、高齢者、障がい者等が円滑に利用できる環境づくりを進めます。

地下鉄

- ・ホームドアの設置と連結部での転落防止措置
- ・車両更新に合わせた車いすスペースの設置
- ・車両番号などの文字及び点字表示
- ・適切な対応や必要な介助を行うことができるよう、職員の教育訓練の充実を図る

J R

- ・車両更新に合わせた車いすスペース・障がい者対応トイレの設置
- ・車両番号などの文字及び点字表示
- ・適切な対応や必要な介助を行うことができるよう、職員の教育訓練の充実を図る

市電

- ・低床型車両の導入検討
- ・適切な対応や必要な介助を行うことができるよう、職員の教育訓練の充実を図る

バス

- ・車いすスペースやスロープを設けた低床バスの導入
- ・適切な対応や必要な介助を行うことができるよう、職員の教育訓練の充実を図る
- ・バス停のバリアフリー化

タクシー

- ・バリアフリー車両(回転シートや車いすりフト装着車など)の導入検討
- ・適切な対応や必要な介助を行うことができるよう、職員の教育訓練の充実を図る

道路管理者

- ・道路やバス停のバリアフリー化

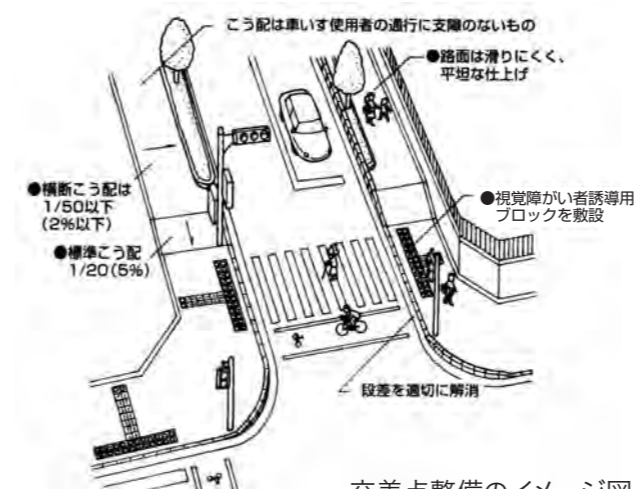


低床バス

道路

優先度の高い地区の主な生活関連経路から重点的に整備を進めていきます。

優先的に整備	段差の解消・勾配の改善
	舗装面や目地についての改善
	視覚障がい者誘導用ブロックをわかりやすく配置
	雨水ますなど道路付帯施設について、歩行の支障とならないよう移設・改善
	歩道除雪やつつる路面対策の実施
段階的に整備	歩道除雪や歩行の支障となる違法駐車への指導・啓発
	歩行の支障となる違法駐輪に対する指導、およびマナーの啓発、撤去、必要に応じた駐車場の整備
	案内標識…設置場所や内容についての検討
段階的に整備	照明…照度が低い場所に設置を検討
	休憩施設…ベンチなど必要に応じて設置を検討



交差点整備のイメージ図



案内表示



誘導用ブロック敷設

路外駐車場

民間事業者

車いす用駐車スペースの設置など、バリアフリー化への協力

行政

- ・駐車場管理者へバリアフリー化への協力要請
- ・バリアフリー化された駐車場の情報提供
- ・行政管理の特定路外駐車場の車いす用駐車スペースの設置などバリアフリー化(実施済み)



車いす用駐車スペース

都市公園

出入口の改善(段差解消、視覚障がい者誘導用ブロックの設置、手すりの設置など)

休憩施設の充実(休憩所、ベンチの設置など)

多目的トイレの設置検討

身体障がい者対応水飲み場の設置検討



公園内休憩施設

建築物

建築物内の経路、施設のバリアフリー化

民間施設への助言・指導

民間施設改善のための融資制度



多目的トイレ